

2014年2月27日

Press Release

楽天リサーチ株式会社

## 2015年新卒採用、売り手市場想定が氷河期想定を上回る。

### ー 人事担当者に聞く、2015年新卒採用に関する調査 ー

URL: <http://research.rakuten.co.jp/report/20140227/>

楽天リサーチ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：森 学）は、人事担当者を対象に2015年春の新卒採用に関するインターネット調査を実施しました。今回の調査は、2014年2月12日から17日の6日間、楽天リサーチに登録しているモニター（約230万人）の中から、全国の人事担当者774人を対象に行いました。

---

#### ■□ 調査結果概要 □■

---

#### ■2015年新卒の採用予定人数は、昨年に比べほぼ横ばい状態

2015年卒の新卒採用の人数の増減について聞いたところ、「昨年に比べ採用人数は横ばいの予定（53.9%）」が半数以上と最も多かった。次に「増やす予定（23.3%）」という回答が続き、全体的に増加の傾向であることが分かった。

「増やす予定」と答えた人事回答者に昨年と比べた増加率を聞いたところ「11%～20%増（36.7%）」が最も多く、前回の調査の「1%～10%増」（35.6%）と比較して伸びた。

#### ■企業側のソーシャルメディア活用率は2割弱

新卒採用の一環で、SNS（Twitter、Facebook、LINEなど）を通じて企業情報を発信したり、学生とコミュニケーションを取ったりしているかという問いに対し、大多数が「いいえ（81.4%）」と回答した。SNSの活用率は前回の調査から3%弱しか増加していないことから、「ソー活」（ソーシャルメディアを使った就職活動）という言葉がメディアに登場しているものの、実際にSNSを使用して学生と双方向のコミュニケーションを取っている企業は少ないことが分かった。

#### ■就職氷河期の氷も融け始めか。売り手市場想定が氷河期想定を上回る。

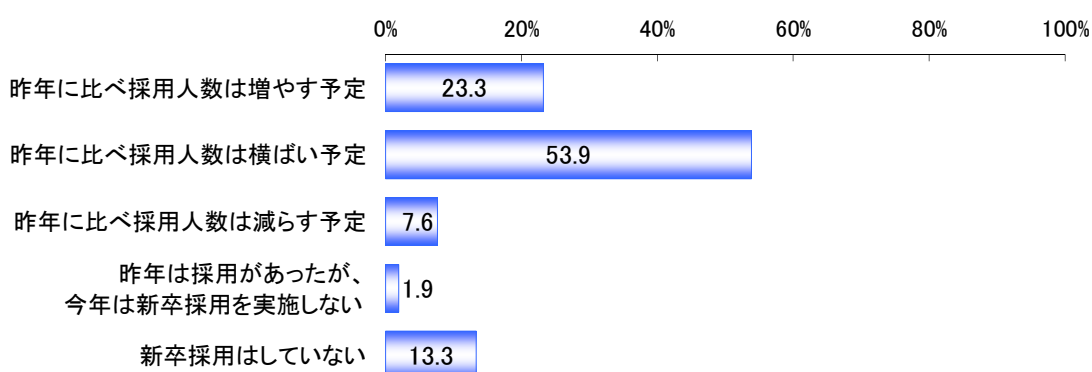
今年の就職戦線は、「氷河期」と「売り手市場」のどちらなのだろうか。採用担当として今年の就職戦線の状況を予想してもらったところ、「どちらでもない（61.9%）」が大多数となったが、続いて「売り手市場（かなり売り手市場＋まだ売り手市場）」が合わせて24.4%となり、「氷河期（超氷河期＋氷河期）」13.7%を上回る結果となった。昨年までは氷河期予想が続いていたが、今年は変化が見られた。今年から徐々に氷が融け始めると予想される。

## ■ □ 調査結果 □ ■

### ■ 2015年新卒の採用予定人数は、昨年に比べほぼ横ばい状態。

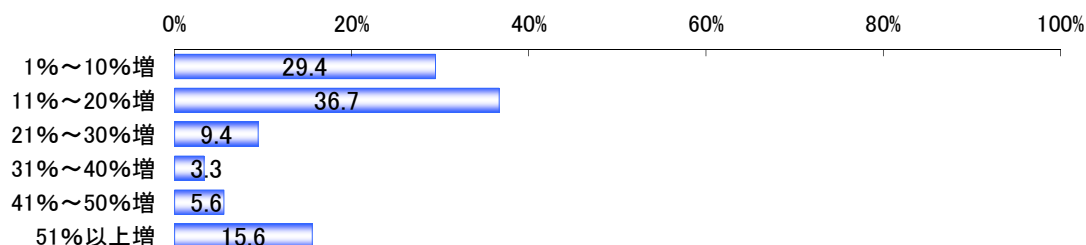
2015年卒の新卒採用の人数の増減について聞いたところ、「昨年に比べ採用人数は横ばいの予定（53.9%）」が半数以上と最も多かった。次に「増やす予定（23.3%）」という回答が続き、全体的に増加の傾向であることが分かった。

#### ◇ 2015年卒の新卒採用人数の増減について（n=774）単位：%

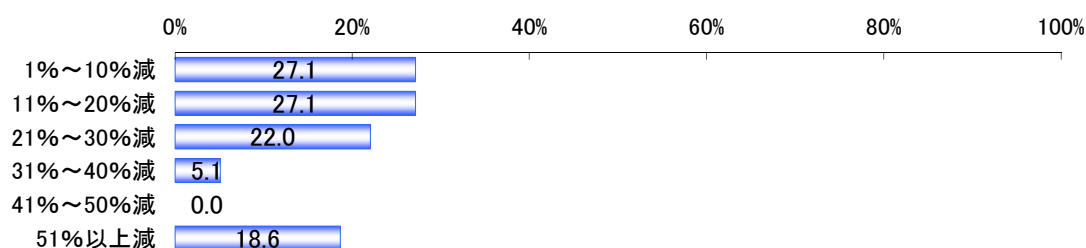


「増やす予定」、「減らす予定」と回答した人に、昨年と比較してそれぞれどのくらいの割合で変更するかを聞いた。「増やす予定」である担当者は「11%～20%増（36.7%）」が最も多く、一方、「減らす予定」である担当者は「1%～10%減（27.1%）」、「11%～20%減（27.1%）」が1位だった。また「51%以上」「増やす予定」で15.6%、「減らす予定」で18.6%となり、大幅な増減を検討している企業もあることが分かった。

#### ◇ 昨年の採用人数に比べ、どのくらい増やす予定か（n=180）単位：%



◇昨年の採用人数に比べ、どのくらい減らす予定か (n=59) 単位：%

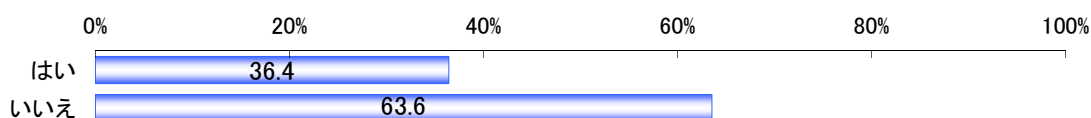


■インターンシップ制度を実施している企業は4割弱。応募状況は「例年と変わらない」

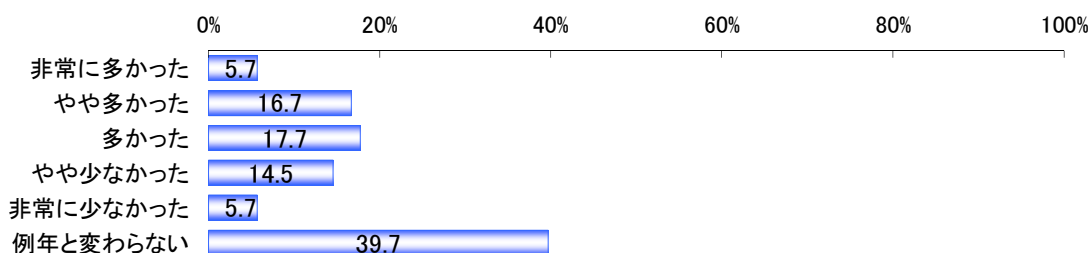
続いてインターンシップの実施の有無について聞いたところ「はい (36.4%)」となり、実施している企業は4割弱にとどまった。前回の調査では、実施している企業は3割程度だったため、昨年と比較するとやや増加の傾向が見られた。

「実施している」回答者に、そのインターンシップへの応募状況を聞いたところ、「例年と変わらない (39.7%)」が最も多かった。

◇インターンシップの実施について (n=774) 単位：%



◇インターンシップの応募状況について (n=282) 単位：%

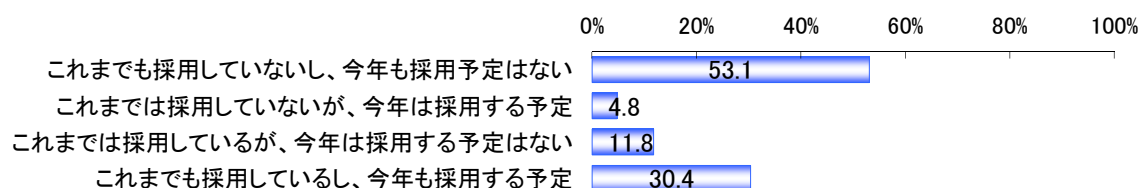


■外国人学生は、昨年に引き続き今年も採用しないが半数以上。

採用実施企業は「技術・開発・設計系」での採用を検討が多数。

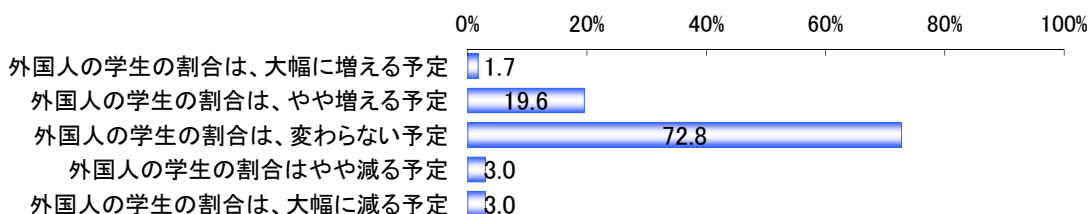
外国人の学生の採用について実施の有無を聞いたところ「これまでも採用していないし、今年も採用予定はない (53.1%)」と引き続き採用をしない企業が約半数を占めていた。

◇外国人学生の採用有無について (n = 774) 単位 : %



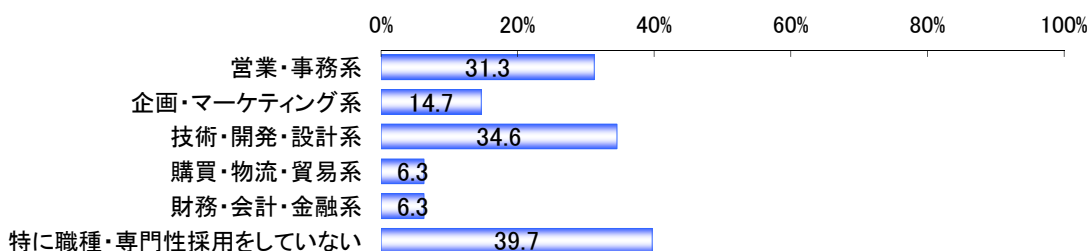
前問で外国人学生を「これまでも採用しているし、今年も採用する予定」と回答した人に、昨年と比較して状況を聞いたところ、7割以上が「変わらない予定 (72.8%)」と回答し、外国人採用については昨年とあまり変わらない状況が見られる。

◇昨年と比較した外国人学生の採用予定について (n = 235) 単位 : %



外国人学生の採用職種や専門性で最も多かったのは、「技術・開発・設計系 (34.6%)」だった。また「特に職種・専門性採用をしていない (39.7%)」という回答も多かった。

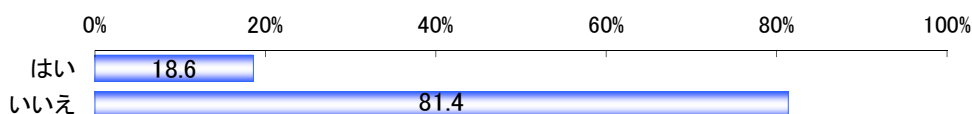
◇外国人学生の採用職種・専門性について (n = 272) 複数選択 単位 : %



■企業側のソーシャルメディア活用率は2割弱

新卒採用の一環で、SNS (Twitter、Facebook、LINEなど) を通じて企業情報を発信したり、学生とコミュニケーションを取ったりしているかという問いに対し、大多数が「いいえ (81.4%)」と回答した。SNSの活用率は前回の調査から3%弱しか増加していないことから、「ソー活」(ソーシャルメディアを使った就職活動) という言葉がメディアに登場しているものの、実際にSNSを使用して学生と双方向のコミュニケーションを取っている企業は少ないことが分かった。

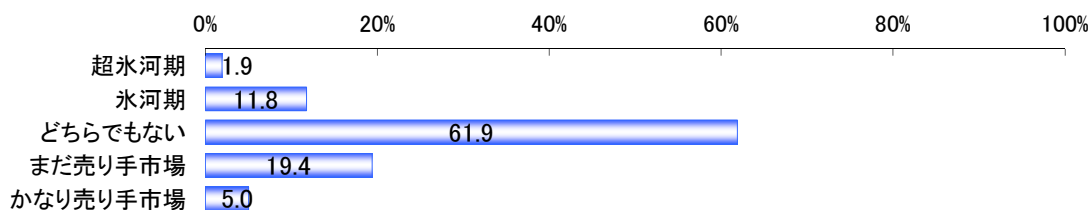
◇SNSを利用した学生とのコミュニケーションの有無について (n=774) 単位：%



■就職氷河期の氷も融け始めか。売り手市場想定が氷河期想定を上回る。

今年の就職戦線は、「氷河期」と「売り手市場」のどちらなのだろうか。採用担当として今年の就職戦線の状況を予想してもらったところ、「どちらでもない (61.9%)」が大多数となったが、続いて「売り手市場 (かなり売り手市場+まだ売り手市場)」が合わせて 24.4%となり、「氷河期 (超氷河期+氷河期)」13.7%を上回る結果となった。昨年までは氷河期予想が続いていたが、今年の変化が見られた。今年から徐々に氷が融け始めると予想される。

◇採用担当として、ズバリ今年の就職戦線は (n=774) 単位：%



【調査概要】

調査エリア : 全国  
調査対象者 : 企業の人事担当者  
回収サンプル数 : 774サンプル  
調査期間 : 2014年2月12日から2月17日  
調査実施機関 : 楽天リサーチ株式会社

以上

【お問い合わせ先】

楽天株式会社 広報部 (担当: 真田)  
TEL : 050-5817-1104 Email : pr@mail.rakuten.com